



9月号
2020 No.03



中日新聞「リンクト」
LINKED
plus
病院を
知ろう

SPECIAL REPORT

生活圏の中で心臓病の
治療を完結させる。

循環器内科特集

CONTENTS

- 1 Cure 病気のおはなし
- 2 Cure 検査・診断のおはなし
- 3 地域医療を支える新しい力
- 4 地域医療の豆知識
- 5 NEWS & TOPICS

Message
院長メッセージ

西尾市民病院では、一般的な心臓病の予防から専門治療、在宅療養支援までをトータルに担っています。この度、近隣病院の第一線で腕をふるってきた医師を、循環器内科の新メンバーに迎え、専門医5名体制での診療がスタートしました。当院、循環器内科チームの新たな挑戦に、ぜひご期待ください。

SPECIAL REPORT

生活圏の中で心臓病の 治療を完結させる。

循環器内科特集

優秀な循環器内科医が安城更生病院から赴任。
専門医5名体制で、西尾市民の心臓を守る。

CHAPTER 01

24時間365日

緊急治療に対応。

晩夏のある日、西尾市民病院を訪ねると、病棟で患者の歩行訓練に付き添う医師の姿があった。同院の循環器内科に赴任して間もない、子安正純医師である。付き添っているのは、先日、急性心筋梗塞で救急搬送され、子安が心臓カテーテル治療（PCI）を行った患者である。PCIは、カテーテルと呼ばれる細い管を血管に挿入し、詰まった冠動脈を再開通させる治療法だ。開胸手術に比べて体への負担を少なく抑えられ、治療後は速やかに普段の生活に戻ることもできる。とはいえ、高齢患者の場合、入院中にできるだけ意識して体を動かすようにしないと、筋力や体力が低下してしまう。子安は、体を動かすことに強い不安感を感じていた患者を励まして、廊下の歩行に連れ出したのだ。「心筋梗塞や心不全の患者さんは、入院中にできる限り体を動かすことがスムーズな生活復帰に繋がります。こうしたリハビリテーションの体制を構築したいと考え、目下、理学療法士などに働きかけているところです」と子安は意欲的に話す。

子安は赴任前、安城更生病院の循環器センターの第一線で腕をふるってきた辣腕ドクターである。PCIを専門として、豊富な臨床経験を蓄積。特に、大動脈弁狭窄症に対する最新治療（TAVI）（タビ…詳しくはP.1参照）の立ち上げメンバーとし

て尽力し、西三河南部西医療圏に最先端の治療を広げてきた実績を持つ。現在も、安城更生病院でTAVIの適応が決まると、子安医師が指導医として出向き、治療を指揮するとともに、若手医師の指導に力を注いでいる。

子安が加わったことにより、循環器内科は常勤の専門医5名体制、非常勤を加えると7名体制になった。「これまでも当院では、心臓カテーテル検査や一時的心臓ペースメーカー挿入などは、昼夜を問わず、いつでも緊急で行っていました。さらに私に加わることで、より余裕のある人員体制で、救急対応ができるようになりました」と子安。心臓の疾患は、一刻を争うことが少なくない。市内に24時間365日対応する循環器内科の拠点があることは、市民に大きな安心感を与えたいと思うだろう。

COLUMN

- 西尾市民病院では、現在、デュアルエナジーCTの導入を検討している（詳しくはP.2参照）。心臓など動きのある臓器を撮影できる最新機種で、長い息止めができない高齢者でも、精密な冠動脈の画像を撮ることができる。
- 循環器内科では、こうした最新の検査機能をフルに活かしながら、多様な循環器疾患に対して正しい診断力を発揮。地域の心臓病にファーストタッチする施設として、しっかりと貢献していく方針である。



CHAPTER 02

生活をゴールに見据え、 患者をずっと支えていく。

子安が西尾市民病院でチャレンジしようとしているのは、どんな医療だろうか。「高度急性期病院では最先端の医療を追求してきましたが、そのなかで、心臓病は治療だけでは終わらないことを実感し、もの足りなさを感じていました。患者さんの生活を取り戻すには、治療後のリハビリテーションが重要ですし、退院後も再発予防のためにしっかりと生活管理が求められます。当院はより生活に近いところにある病院ですし、専門性の高い看護師が揃っていて、リハビリテーションをはじめとしたコメディカルスタッフのレベルも高い。この恵まれたフィールドで、心臓病の予防から治療、そして在宅での支援まで一貫した医療を展開していきたいと考えています」(子安)。

シヨインに広げていく考えだ。同時に、地域の診療所と顔の見える関係を築き、地域医療連携の強化にも力を入れていこうとしている。「私が赴任する前から、当院はガイドラインに則り、PCIなどの治療に積極的に取り組んできました。その医療レベルは、高度急性期病院に匹敵するものです。また、患者さんやご家族との対話を重視し、丁寧な診療を進める風土もあります。その良さを活かしながら、救急から生活復帰までを支援するハートチームとして大きく成長していきたいですね」と、抱負を語る。

子安が最初に計画しているのは、病棟での社会復帰に向けたリハビリテーションの体制づくり。ゆくゆくは、心臓リハビリテ

西尾市内の循環器疾患は、まずは同院で診て、必要に応じて近隣高度急性期病院などと連携して治療していく方針だ。「循環器疾患の治療法はいろいろありますが、当院ですべてやることはできないですし、やろうとも思いません。患者さんファーストで、常により良い治療法を提案し、地域医療連携のなかで、患者さんを治し支えるのが、私たちの使命だと考えています」と子安は力強い口調で締めくくった。

BACKSTAGE

市内で発症した心臓病は 市内で治し支える。

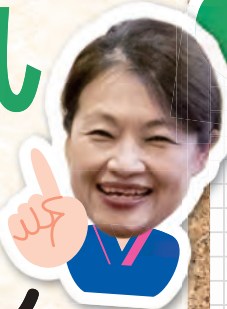
●心臓病は、生活習慣に起因する病気。だからこそ、一時的な治療で終わりではなく、治療前の予防やその後のフォロー、再発予防がとても重要となる。

●西尾市民病院はそうしたニーズに応え、特殊な治療を除き、一般的な心臓病の予防から専門治療、在宅での療養支援までをトータルに担っている。何か異変が起きたとき、いつでも頼って、安心して任せることができる。市民にとってこれほど心強い存在はないだろう。



キュア
Cure

病気の おはなし



先生、
教えて！

大動脈弁狭窄症

大動脈弁狭窄症は心臓弁膜症の一つ。
大動脈弁の開きが悪くなり
血液が流れにくくなる病気です。

高齢者に多い 大動脈弁狭窄症。

心臓には左右の心室と左右の心房という四つの部屋があり、全身に血液を送る仕事をしています。左心室から押し出された血液は、大動脈を通して全身の内臓へ運ばれます。大動脈弁狭窄症とは、その左心室と大動脈の間にある扉（大動脈弁）が加齢などにより石灰化して硬くなり、弁が開きにくくなる病気です。弁の開き具合が悪くなることで、心臓から大動脈に血液が流れ出にくくなります。

最初のうちは自覚症状がありませんが、血液の通り道が狭くなり、心臓に負担がかかることから、しだいに動悸、息切れ、胸痛などの症状が現れてきます。

最先端のカテーテル治療 TAVI(タビ)とは。

大動脈弁狭窄症に対する第一の治療法は、硬くなった弁を人工弁に取り替える大動脈弁置換術です。これは安全で確実な手術ですが、人工心肺装置を利用するため、体への負担が懸念される高齢者などには適応できません。そうした人を対象にした最新の治療法が、TAVI(タビ:経カテーテル大

動脈弁植え込み術)。折りたたまれた人工弁を装着したカテーテルを大動脈弁まで運び、人工弁を留置する治療法です。

TAVIは、脳血管X線撮影装置が設置された特別な手術室(ハイブリッド手術室)で、循環器内科医と心臓血管外科医と一緒に治療を行います。西三河南部西医療圏では安城更生病院がTAVIを導入しており、当院は緊密な連携を取って、患者さんを紹介しています。



Message

医師からのメッセージ



循環器内科
子安正純

安城更生病院と連携して治療を行い、 その後の療養まで継続して支えます。

私は当院に赴任する前、安城更生病院でTAVIの治療を担当し、現在も同院に出張してTAVIの治療や後輩の指導にあたっています。

そのため今後は、当院で大動脈弁狭窄症と診断し、TAVIの適応がふさわしいと判断した場合、主治医である私が治療を担当。安城更生病院のハイブリッド手術室で、同院のハートチームと協力しながら、治療を行います。退院した後は再び、当院に通っていただき、再発予防のための薬物療法を続けていきます。治療からその後の療養までを一貫して担当する体制により、より安心して任せていただけると思います。

検査・診断 の おはなし

テーマ

動脈硬化の検査

病気を治すだけじゃありません。

虚血性心臓病に繋がる動脈硬化。
精度の高いCT検査、
心臓ドックでリスクに対応します。



虚血性心臓病の多くは、
動脈硬化によって発症します。

動脈硬化とは、年齢を重ねることによって動脈の壁が厚くなったり、硬くなったりすることで、血液の流れが悪くなった状態を指します。

動脈硬化が心臓をとりまく血管に生じると、十分な酸素や栄養が心筋に送られなくなり、心筋梗塞や狭心症といった虚血性の心臓病を引き起こします。

つまり、動脈硬化が進むことで発症するのが、虚血性の心臓病です。これらの病気は、自覚症状がないまま進行し、ある日突然、発作に襲われることになります。動脈硬化の理由には、生活習慣に起因するケースが多く、日頃からの注意が何より大切です。

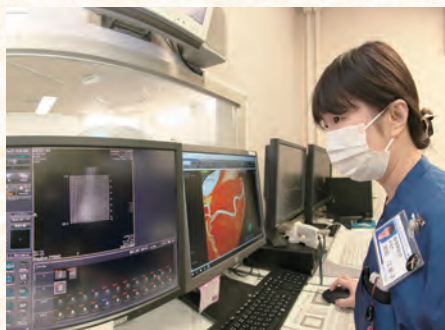
冠動脈の石灰化スコアで、
将来のリスクも解ります。

動脈硬化を調べるには、血管年齢検査や運動負荷心電図を行います。そこで異常が見られた場合は、CTでの精密検査へと進みます。

動脈硬化に関して、CT検査は極めて有効です。なぜなら、動脈硬化とは、血管の中膜の部分にカルシウムが沈着し、血管が硬くなる石灰化です。この

冠動脈の石灰化スコアを見ることにより、現在の動脈硬化の程度はいうまでもなく、心臓病に関わる将来的なリスク、すなわち、心臓病を発症する可能性まで知ることができます。

このCT検査の精度をさらに向上させるために、当院ではデュアルエナジーCTの導入を決定しました。この装置では、従来より少ない造影剤、短い時間で、より精密な画像を得ることが可能。万全の体制を整え、充実した検査を実現していきます。



Message

私たちが支援します



池田江美子
(診療放射線技師)

将来のために、ぜひ心臓ドックをお受けください。

当院では「心臓ドック」を実施しています。このドックは、心臓病の可能性を調べる検査。心臓病の予兆である、動脈硬化の段階で可能性を見つけることができ、早期の予防に大きく役立ちます。「40歳以上」「肥満」「高血圧」「喫煙」「強いストレスを受けている」など心疾患リスクセルフチェック10項目があり、該当項目が多いほど、心疾患のリスクが高くなります。上記でご説明した「冠動脈石灰化スコア」を見るCT検査が含まれるコースもあり、動脈硬化の発見にも有効です。

●心臓ドック

毎週火曜日・金曜日
(祝日および年末年始、第4火曜日を除く)
①午後1時30分 ②午後2時

詳しくはこちら



地域医療を支える

新しい力

チカラ

新人対談企画

専攻医(整形外科)

新人看護師

私たちの
仲間をご紹介。

コミュニケーションの親密さが当院の魅力。



三年目を迎えたお二人。これまでとの変化はありますか？今の状況と合わせお聞かせください。

内藤 整形外科を自分の専門に決めたのが一番の変化ですね。

八木 なぜ整形外科を選んだのですか？

内藤 もともと興味を持ってたけど、初期研修でさまざまな診療領域を学ぶなか、整形外科は手術をして良くなって、治っていく過程がはっきり見えるところがいいなと思ったんです。

八木 それ解ります。私は外科と形成外科の病棟勤務ですが、手術をすると経過が目に見えて解りますものね。

内藤 それに骨って全身にあるでしょ。そのそれぞれ、しかも症例によって手術の仕方を変えたり、そういうところも興味深い面白って思ったんです。

八木 私の変化は、以前と比べて点ではなく線、面で患者さんと繋がっているのを感じるようになったことです。患者さんやご家族を、より深く理解できるようになってきました。

内藤 深く理解すると、患者さんの退院後にも目がいくようにならない？僕は以前は治療のことだけ考えていたけど、今は

患者さんが退院後、どうすれば望む生活に戻ってもらえるのか、そういう面が大事だと思うようになったね。

八木 私も同じです。患者さんが独居の方だと、自宅に帰ってからどうやって生活していくのか、すごく気になる。自分がそこにどう介入するのか、まだまだ勉強中ですけどね。



学びの日々を送るなかで、この病院の良いところ、魅力をお聞かせください。

八木 年齢の近い先輩、ベテランの先輩がいらして、何でも教えてくださるところですね。すごく話しかけてくれて、処置や検査なども、一緒に仕事をしながら丁寧に教えてもらえます。まだまだひよっこの私にはそれが大きな安心なんです。

内藤 それは医師も同じだね！コミュニケーションを親密に取る文化が根づいているというか、上の先生にも聞きやすいですし、守られながらも経験をさせてもらえる環境があり、とてもありがたい。

八木 それがウチの病院の大きな魅力ですよ。

内藤 それもすべて患者さん、地域の方を見つめているからこそ生まれてきた、当院の風土だと思いますね。



地域に寄り添う病院だからその、いろいろな経験ができています。



「あなたは話を良く聞いてくれる。ありがとう」という患者さんの言葉が支え。

整形外科専攻医(1年目)

内藤健太(ないとうけんた)

愛知県一宮市出身。初期研修時代、救急対応でしっかりと鍛えられました。

新人看護師(3年目)

八木美寿希(やぎみずき)

愛知県西尾市出身。入職前から実習などでよく知っていて、迷わずこの病院に決めました。

こんな言葉知っていますか？ 地域医療の 豆知識

M A M E C H I S H I K I

テーマ 認知症サポートチーム

今回は
〈認知症サポートチーム〉
について学びましょう



決して他人事ではない「認知症」。
患者さんと家族を支える
社会づくりがとても重要です。

超高齢社会の大きな問題の一つに、認知症を患う方の増加があります。5年後の2025年には、65歳以上の高齢者の約5人に1人が認知症と見込まれ、今からその対策が重要課題となっています。

そのための取り組みは全国各地で行われていますが、西尾市でもいくつか実施されています。例えば、認知症の方を介護する家族の不安や、戸惑いを解消する介護者同士のための「認知症介護家族交流会」、認知症を理解し、認知症の方や家族を温かく支援する「認知症サポーター養成講座」、認知症の方や家族の方の息抜き、交流の場である西尾市認定「認知症カフェ」などがあります。

こうした活動に参加し、認知症の正しい知識を持つ方が増えることは、認知症患者さんの早期発見と早期治療に繋がります。何より大切なことは、認知症の方を特別視しないという社会づくり、さらには地域全体で認知症の方を見守り、家族を支える環境づくり。決して他人事とは考えず、社会全体で取り組んでいきたいものです。

西尾市民病院では

多職種で活動する認知症サポートチーム。一人ひとりの患者さんを見つめて。

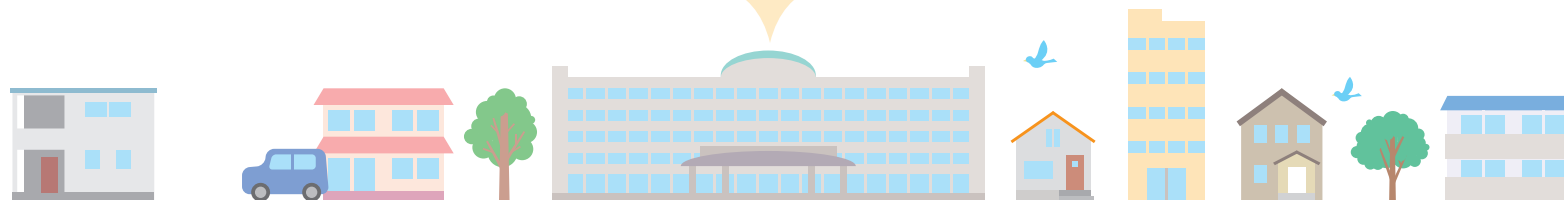
当院では、認知症サポートチームを設置しています。チームは精神科医師をリーダーに、公認心理士、認知症看護認定看護師、社会福祉士、薬剤師、言語聴覚士、作業療法士の多職種で構成。認知症のある・なしにかかわらず、対象患者さんをチームでスクリーニング。病棟での課題を聞き、多職種でカンファレンスを行い、患者さん一人ひとりの対応策を考えていきます。

加えて、認知症の入院患者さん向けに、非薬物療法として院内デイケアを行っていましたが、コロナ禍では一旦中止。それに代わるものとして、認知症の方に一つの部屋に集まってお話し、見守りはもちろん、合唱する、簡単な体操をするなど、ユニットケアが行えないか、今はそのマニュアル作成を進めています。また、私自身は認知症の看護専門外来も担当し、主にご家族を中心に、ご相談をお受けしています。また、もう一人の認定看護

師が、夜間ラウンドし認知症の患者さんのお話を聞き、記録に残すといった活動も行っています。いずれの活動も、認知症患者さんの本来の姿を見つけ出し、ご家族や次の施設の方にお伝えするため。患者さんが獲得できるはずの生活を、少しでも実現していただきたいです。

また、患者さんの元々の病気治療を進める病棟スタッフが、負担なく業務を進められるようサポートすることも意識しています。それはイコール、患者さんのより良い治療、早期退院に繋がり、患者さんには大きなメリットになります。

認知症看護認定看護師
市川基子



01

最新の睡眠検査装置を導入。「睡眠時無呼吸症候群」の詳しい検査ができます。

「日中、強い眠気を感じる」「家族に大きないびきをかくと言われた」など、睡眠の質が下がっていると感じたことはありませんか？

心当たりのある症状が一つでもあれば、「睡眠時無呼吸症候群」の可能性があります。これは、睡眠中に呼吸が止まったり、止まりかけたりを何度も繰り返すことにより、日常生活にさまざまな障害を引き起こす病気。最近では、循環器疾患との深い関わりがあることが明らかになってきています。

当院の耳鼻咽喉科では、9月1日から最新の睡眠検査装置を導入し、「睡眠時無呼吸症候群」の詳しい検査ができるようになりました。心当たりのある症状が一つでもある方は、当院耳鼻咽喉科にご相談ください。

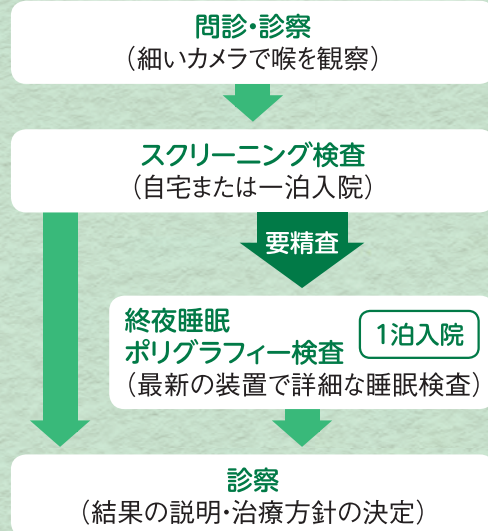
Check

当てはまったら要注意！

- ☐ 大きないびきをかく
- ☐ 日中の強い眠気
- ☐ 起床時の頭痛やだるさ
- ☐ 夜間頻尿
- ☐ 集中力の低下
- ☐ 居眠り運転をよく起こしそうになる



検査の流れ



※一泊入院は、夕方入院し翌早朝退院
※健康保険適応(3割負担の場合、約4万円)

お問い合わせ先

TEL 0563-56-3171 (医事課)

02

新型コロナウイルス感染症対策

屋外に簡易診察室設置。PCR検査機器も導入します。

当院では、新型コロナウイルス感染症対策として、屋外に簡易診察室となるユニットハウスを設置。9月末には、PCR検査機器を導入することとなりました。PCR検査では、新たに唾液の自己採取による検査にも対応。医療従事者の感染リスクを最小限に抑え院内感染を防ぐほか、検査結果判定までの時間は約3時間と大幅に短縮され、より迅速に医療を提供することができるようになります。

看護師募集中！

お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

西尾市民病院 事務部 管理課 職員担当
0563-56-3171 (内線2286)

安心して働ける
サポートがあります。



病院広報誌 特設サイト



こちらから



地域の皆さんや連携機関の皆さんと「西尾市民病院」を情報で繋ぐ、広報誌連動型コミュニケーションサイト。ぜひご覧ください。

LINE〈公式〉アカウント

病院広報誌「Ciao」のLINE〈公式〉アカウントを開設しました。QRコードから「友だち追加」をお願いいたします。



西尾市民病院

NISHIO MUNICIPAL HOSPITAL

〒445-8510 愛知県西尾市熊味町上泡原6番地

TEL 0563-56-3171 (代表) URL <https://hospital.city.nishio.aichi.jp/>



9 2020
月号 No.03

発行責任者／院長 棚宣田 政隆
発行／西尾市民病院 広報委員会
記事提供／中日新聞広告局
編集協力／プロジェクトリンク事務局
発行日／2020年9月30日